

令和5年度 第5回 小金井市立緑小学校 学校運営連絡会

令和6年2月21日（水） 10:00～11:30 調理室

○出席 後藤会長 井上委員 太田委員 駒野委員 高井良委員 藤木委員
森委員 八木委員 吉田委員 校長 副校長
13名中11名出席 委員の過半数の出席により本会は成立

○傍聴者 なし

1 会長挨拶

本日も、よろしくお願いいたします。

2 校長挨拶

先週、学級閉鎖がありましたが、子供たちは落ち着いている。インフルエンザは、各学年にり患者がいる状況である。

3 協議

(1) 学校予算の執行について

- 学校管理備品及び教育振興備品の執行状況は資料のとおり。
- 教育振興備品の予算で、各教科の物を購入している。

・今年の決算は、希望通りに購入できていると思われる。

(2) 学校関係者評価最終評価について

- 前回のCS委員会での話し合いを基に、最終報告書としてまとめた。
- この最終報告書を教育委員会に提出する。

(3) 令和6年度の主なスケジュールについて

- 主な行事予定は、資料のとおり。来年度は、春に「体育科発表会」、秋に「みどり展」を実施する。
- CS委員会の予定は、資料のとおり。

第2回は、学校公開を見ていただいた後、CS委員会を予定している。

(4) 次年度の教育課程の編成について

○小金井市学校教育課程の方向性として、「授業変革」「子供の権利」「地域連携」の3つの柱がある。それに伴って、8つの重点項目がある。この重点項目に沿って、令和6年度の教育課程を作成した。

○昨年度からの変更点は、学校教育目標の重点目標を「たすけあう子ども」に変更した。

○第1表について

来年度も「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図っていきたい。

校内研究等を通して、「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践に取り組んでいきたい。

コミュニティ・スクールとして、地域学校協働本部との連携を図っていく。

- ・重点目標を「たすけあう子ども」に変更したのは、子供たち同士の関わり合いを大切にしているため。
- ・近隣大学との連携を活用して、子供たちの学習に還元していく。
- ・学校ボランティアについては、近隣の市では有償で活用している。小金井市も有償にできないか。
- ・他市の学校では、時給2000円でボランティアを活用しているところもある。
- ・不登校対策の取組について、学校としては校内委員会で手立てを検討している。

○第2表について

○探究的な活動、体験的な活動のさらなる充実を図っていきたい。

○デジタル・シチズンシップ教育の推進について新たに付け加えた。

○人権教育の推進として、「子どもオンブズパーソン」を活用した授業に取り組んでいく。

- ・デジタル・シチズンシップ教育に関しては、情報モラル教育を図っていく。
- ・情報モラルに関する授業を学校公開日にあてて、保護者にも参観してもらう。
- ・ゲーム依存は、低年齢化している。様々な問題がある。

4 情報交換

○みどりの放課後は、中止することなく実施している。

○地域コーディネーターとして、家庭科の授業のボランティア、1年生の昔遊び、4年生のボッチャの体験等で地域の力を活用した。

○来年度は、放課後活動する教室の確保が課題である。

○新1年生保護者会で、みどりの放課後について説明をした。多くの方が興味を示してくれた。

○CSとPTAとの連携を図っていきたい。

○保護者同士の関わり合いが減ってきているように感じる。

○緑小合唱団については、顧問を合唱団の保護者・運営委員は緑小CSで実施できるか検討中。